

## 砂原陽一教授 略年譜・研究業績

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/30287">http://hdl.handle.net/2297/30287</a>

# 砂原陽一教授 略年譜・研究業績

## 1. 略歴

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1947 (昭和 22) 年 2 月 | 北海道小樽市に生まれる           |
| 1965 (昭和 40) 年 3 月 | 北海道立小樽朝稜高校卒業          |
| 1965 (昭和 40) 年 4 月 | 早稲田大学第一法学部入学          |
| 1969 (昭和 44) 年 3 月 | 同大学卒業                 |
| 1970 (昭和 45) 年 4 月 | 東京都立大学人文学部哲学科 3 年に編入学 |
| 1972 (昭和 47) 年 3 月 | 同大学同学科卒業              |
| 1973 (昭和 48) 年 4 月 | 東北大学大学院修士課程入学         |
| 1976 (昭和 51) 年 3 月 | 同修了 (文学修士)            |
| 1976 (昭和 51) 年 4 月 | 同大学院博士課程進学            |
| 1981 (昭和 56) 年 1 月 | 同 博士課程単位取得退学          |
| 1981 (昭和 56) 年 2 月 | 金沢大学教養部助教授に採用される      |
| 2001 (平成 6) 年 4 月  | 同 教授に昇任               |
| 2004 (平成 9) 年 4 月  | 金沢大学文学部教授に配置換         |
| 2012 (平成 24) 年 3 月 | 金沢大学を退職               |

## 2. 研究業績

### 学術論文

1. 「「概念空間」から「生きられる空間」へ —— ベルクソン哲学の生成に関する一考察」『思索』第 10 号 (東北大学哲学研究会) 1977, 103-122 頁
2. 「メルロ・ポンティの存在論」『思索』第 13 号 (東北大学哲学研究会) 1980, 100-118 頁
3. 「ベルクソンにおける哲学と常識」(金沢大学教養部論集・人文科学篇、第 21 号) 1983, 33-54 頁
4. 「ベルクソン哲学における非存在と無」(金沢大学教養部論集・人文科学篇、第 23 号) 1986, 177-195 頁
5. 「ベルクソンにおける方法としての直観」『思索』第 22 号 (東北大学哲学研究会) 1989, 109-128 頁

6. 「現象学からの解放——ウィリアム・ジェイムスの哲学」(金沢大学教養部論集・人文科学篇、第 26 号) 1989,149-166 頁
7. 「ベルクソンの時間論」(金沢大学教養部論集・人文科学篇、第 29 号) 1992,1-18 頁
8. 「ベルクソンの過去自動保存説について」(金沢大学教養部論集・人文科学篇、第 31 号) 1994,1-11 頁
9. 「ベルクソンの「過去自動保存説」」(東北哲学会年報、第 43 回東北哲学会大会研究発表論文) 1994,29-42 頁
10. 「ニーチェにおける「同じものの永遠回帰」思想の伝達」(金沢大学文学部論集・行動科学篇、第 17 号) 1997,1-17 頁
11. 「ニーチェの「同じものの永遠回帰」思想と転換の論理」(金沢大学文学部論集・行動科学篇第 19 号) 1999,29-46 頁
12. 「「他人」考」(金沢大学文学部論集・行動科学篇、第 21 号) 2001,33-49 頁
13. 「メルロ・ポンティにおける現象学的還元」(金沢大学文学部論集・行動科学篇、第 23 号) 2003, 99-114 頁
14. 「「権力への意志」の冒険」(金沢大学文学部論集・行動科学篇、第 24 号) 2004, 25-40 頁
15. 「カントの理性への自己信頼をあえて揺るがす」(中部哲学会年報、第 37 号) 2005, 13-24 頁
16. 「ニーチェにおける<両義的思考>」(金沢大学文学部論集・行動科学篇、第 27 号) 2007, 133-155 頁
17. 「ニーチェの「等しきものの永遠回帰」思想の信仰」『思索』第 41 号(東北大学哲学研究会) 2008,15-43 頁
18. 「ベルクソンの「良識の方法」」(『哲学・人間学論叢』創刊号、金沢大学哲学・人間学研究会) 2010, 75-91 頁
19. 「『ツァラトゥストラはこう語った』の二つの章における回帰思想の伝達」(『哲学・人間学論叢』第 2 号、金沢大学哲学・人間学研究会) 2011, 1-15 頁
20. 「ニーチェと宗教」(『点から線へ』第 58 号、西田幾多郎記念哲学館) 2011,70-101 頁
21. 「ニーチェとイエス」(『哲学・人間学論叢』第 3 号、金沢大学哲学・人間学研究会) 2012, 印刷中

翻訳

モーリス・メルロ・ポンティ『心身の合一』2007、ちくま学芸文庫（共訳）

その他

『命題コレクション 哲学』2008、バルクソンの項担当、277-284 頁、ちくま学芸文庫